

## 港区教育史編さん基本方針（案）

港区教育委員会は、平成29年3月15日に区政70周年を迎えるのを機に、昭和62年の「港区教育史」（上・下巻）、平成9年の「港区教育史」（資料編1、2）の刊行から経過した港区教育史を、以下の方針に基づき新たに編さんします。

### 1 基本方針

- (1) 江戸時代後期から始まる「寺子屋」以降、この港区の地における150年を超える教育の歩みを体系的に記録し、後世に語り継いでいける教育史とします。
- (2) 歴史的事実、学術的研究を基に、教育史の編さんを行います。
- (3) 図表や写真等を多く用い、分かりやすく親しみやすい、区民が身近に感じられる教育史とします。
- (4) 区民との協働で編さんを行うことにより、愛着が持てる教育史とします。
- (5) ICT（情報通信技術）を活用することにより、国内外に広く港区の魅力を発信します。
- (6) 収集した資料及び今後新たな研究・検証に基づく資料は継続的に収集を行い、管理・保管して後世に残すとともに、定期的に検証します。
- (7) 子どもや保護者、地域の方々の視点で「くらしと教育編（仮称）」を新たに編さんし、広く区民に手に取ってもらうためのわかりやすい教育史とします。

### 2 編さん期間

平成28年度から平成31年度まで

### 3 刊行年月

平成32年3月予定

### 4 港区教育史の成果物

- (1) 書籍版
- (2) デジタルアーカイブ（インターネット上で公開）